

インフラメンテナンス総合委員会 活動計画		承認年月日
		2022年6月2日
小委員会名称	知の体系化小委員会	
小委員会活動の概要	多分野・異分野の知の融合と教材の開発	

1. 活動計画

活動予定期間	2022年度（2022年6月～2023年5月）	
活動の目的 インフラメンテナンス総合委員会で組織的に活動する必要性を含めて記載。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会インフラのメンテナンスは、対象（事業、構造物、素材等）とプロセス（調査・計測・診断・補修）の組合せが多いため、担い手が必要とする教材とその体系化が不十分である。 ・ また、公共サービスとして社会インフラ利用を継続的に提供するためには、土木分野の知識とマネジメント手法、情報通信技術、地域コミュニティ連携等の「知」を融合する必要がある。 ・ 本小委員会は、社会インフラの維持管理に関して、多分野・異分野との知の融合と教材の開発の推進を図る。 	
活動の計画 想定期間の活動計画を記載。	<p>以下、第1期（2020年6月～2022年5月）の項目を継続して活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 初学者向けのメンテナンスに関わる教材の開発 「“はじめて”のインフラメンテナンス講座（前編、後編）」を開講する。 受講者質問への回答、効果の評価および今後の教材開発を検討する。 2) インフラメンテナンスの知の体系化に関する検討 <ol style="list-style-type: none"> a) マンダラ形式で整理した「社会インフラの効果的・持続的なメンテナンスを支える機構・行為」について、検討を深める。 b) インフラ別／構造別の土木外連携（研究開発、事業化）の状況について事例等を追加・整理する。 c) 土木外連携の要所についてSIP実施者にアンケート・ヒアリングを行い、の検討を深める。 3) インフラメンテナンス関連書籍の増補検討 既刊「社会インフラメンテナンス学」の増補の方針等を検討する。 	
予定成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知の体系化に関する検討結果を次の小委員会 Web サイトに掲載 https://committees.jsce.or.jp/maintesogo01/ 	
成果の公表予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土木学会全国大会（2022年9月）研究討論会を開催 	
分科会の構成	<p>WG1：教材開発支援分科会 WG2：知の体系化検討分科会 （インフラメンテナンス関連書籍の増補検討は、小委員会として対応）</p>	
予算	<p>¥575,000. 集合会議に係る出張旅費</p>	